

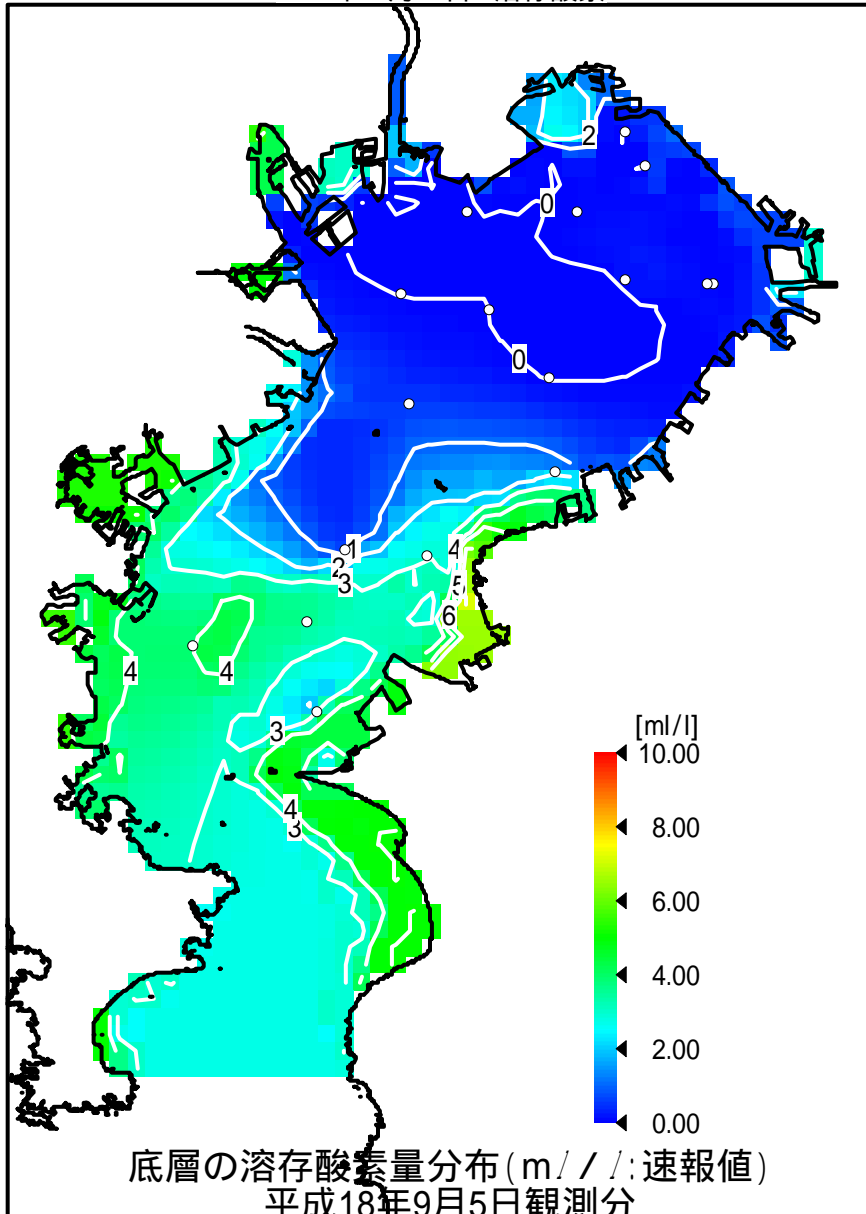
貧酸素水塊速報 (2006年)

千葉県水産総合研究センター(編集)
 神奈川県水産技術センター
 内湾底びき網研究会連合会(千葉県)

協力:海上保安庁海洋情報部
 協力:千葉県環境研究センター
 協力:東京都環境局
 協力:第三管区海上保安本部

9月3日から吹いていた北寄りの風のため、貧酸素水塊は北部に偏って分布しています。しかし今回は青潮が発生しなかったため、底層に貧酸素水塊が滞留したままで規模が大きくなっています。DOが0の範囲内は硫化物を含む無酸素水塊です(推定)。今後、気象条件により大規模な青潮が発生する可能性も出てきました。十分に注意してください。水温は、表層で24~27℃、底層で18~24℃です。上下の差が6~7℃あります。漁獲物の取扱いにも注意してください。
 赤潮は北部海域で発生していますが、プランクトンの種類は分析中です。

2006年09月05日:溶存酸素



「東京湾貧酸素水塊予測システム」も運用しています。水産総合研究センターのホームページからご覧ください。携帯電話は<http://www.awa.or.jp/home/cbsuishi/cbmobile.html>からどうぞ

酸素飽和度と溶存酸素量の目安		
酸素飽和度	溶存酸素量	備考
50%	2.5m//	貧酸素水
30~40%	2.0m//	魚類に影響
	1.5m//	貝類危険
	1.0m//	
10%	0.5m//	

